

北般若だより

2024 年（令和 6 年）12 月 1 日
第 333 号
北般若自治振興会
北般若公民館

餅つきで暖か交流 北般若文化祭

10月20日（日）北般若文化祭を開催しました。今年は、公民館が地域交流センターになった節目の年。それを祝って、2基の杵と臼で餅つきをしました。当日は前日との気温差が5度の17度。寒い強風の中でのイベントでしたが皆さん元気でした。



「よいしょ！よいしょ！」の掛け声とともに大勢の方や子供たちが餅つきに加わり賑やかな歓声が響き渡りました。餅は文化祭もりあげ隊（今回結成）により餅の手返し、きな粉・ゴマやパック詰めが手際よく行われ、つきたての餅はおよそ200名の方々と味わいました。食改さんにも200名分の手作りどんぶりを提供頂き、皆さんで美味しく食しました。

ホールでのステージ発表は、出演者が日頃の研鑽成果を発表。今年の異色の出演は、「なのはな元気教室」の『いい湯だな』。頭のタオルが温泉気分を醸しだし、演出効果抜群の体操でステージを盛り上げました。



特別招待は民謡の林桜子（西部金屋・中2）さん。日本一の民謡は「さすが！」と、感心する素晴らしさ。可愛らしくあどけなさが残る容姿とは裏腹に幅のある声量で大勢の観客を魅了しました。終始満員の会場は、熱気と笑顔に包まれていました。作品展示も多彩な作品を多数展示、「お宝拝見」の企画展も面白いものになりました。

文化祭を通じ多くの方々と会話が広がり、地域のパワーを感じる最高の文化祭でした。皆様方の協力を得て開催出来ました。ありがとうございました。これからも、地域住民の交流・連帯感がより深まり、世代間の交流の企画運営に努めてまいります。北般若公民館主事 青島幸子

大屋要一さんレスリング人生に乾杯

「富山県功労表彰」の表彰式は11月1日、県民会館で行われ、西部金屋の大屋要一さん（元県レスリング協会副会長）が受賞された。高校、日本大学とレスリング部に所属。卒業後、高岡向陵高校教師になり定年退職までの38年間レスリング部顧問として指導。その間、高岡ジュニア（少年少女ちびっこ）レスリング教室を立ち上げ、なかでも小学生の時からこの教室で頭角を現わしていた登坂絵莉は、2016年リオ五輪で金メダリストに輝いた。また、2000年とやま国体で県としてレスリング競技の団体優勝したことが思い出深いと話す。定年退職後は、趣味の園芸を小矢部園芸高校で学び、現在、リンゴ種や梨10種、ぶどう30種の果樹栽培に取り組む。ぶどうは、摘粒する6月が大変で、これにより房の形が決まるという。出荷先のあぐりっち佐野店で大屋さんの様々な品種が楽しめ、食べ比べもオススメです。今後は皮ごと食べられる種の無いぶどう作りにレスリング同様、力を入れていきたいと語られた。



高畑利隆

「花と緑の銀行」表彰・大清水

9/23花と緑の銀行は「県の花と緑の祭典2024」を県民会館で開き、緑化活動の推進に寄与した個人や団体、コンクール入賞者をたたえた。その中で「花と緑の銀行」理事長表彰の団体の部で大清水自治会が表彰され、グリーンキーパーで貢献されている大清水自治会副会長の山田久則さんが表彰状を受け取った。



北般若地区等の動き

12/12 近辺お訪ねツアー（チラシで募集）
12/19なのはな元気教室（クリスマス会）



西部金屋 防犯カメラで安全安心

昨年集落内の通学路で怖い目に合う騒ぎ、燃えないゴミ庫での盗難やルール外の置き去り、神社の荒らしなどが頻発した。そんな中、高岡市は通学路を条件に「安全安心見守りカメラ設置事業費補助金制度（10万円/台）」を、富山県は通学路に拘わらず不安に思うところでの同制度（5万円/台）で公募をしていることを知った。



自治会では PTA とも共有し、昨今の情勢により通学路である交流センターと二つの県道が交差する五差路の2か所に設置を決め、10月11日に設置が完了した。工事費用は1台あたり約12万円、通信費は月額1,650円ですが、24時間夜間もバッチリ記録され、安全安心な環境が整った。かかる制度は次年度も暫く続くものと思われるので、他の集落も水平展開されますように！

西部金屋 高嶋信一

「石代のつどい」地震対応について学ぶ

11月10日午前9時30分より、石代公民館にて「石代のつどい」が総勢46人の自治会員が参加し、正月の「能登半島地震」発生直後の会員のアンケート要望から、『地震発生時の初期対応について学ぶ』ことを目的に実施された。第1部では市役所危機管理室出前講座（講師：小林危機管理アドバイザー）を実施。小林氏からは「地震のリスク」「自分や家族を守る」「平時の備え」の重要性を学び、自治会からは全戸に防災リュックが1個ずつ配給された。第2部では『家庭の消火器は大丈夫？』として、消火器の10年有効期限を確認し、必要家庭にはJA戸出の協力で新規品の幹旋、期限切れ品の処分を後日行った。第3部では『炊き出し体験』として、婦人部の協力で「おにぎり、豚汁」が提供された。「当たり前の事」が如何に大切かを思い知らされた1日であった。自治会副会長 井林秀文



剪定枝の資源化を目指す

北般若地区の皆様方に置かれましては、日頃から高岡市の環境行政推進にご協力賜り、心から感謝申し上げます。高岡市の南部地域には屋敷林が多く、剪定枝の発生量が多い地域となっています。本市では、これらの剪定枝を燃やせるごみではなく、少しでも資源化することを目指し、去る10月26日（土）午前9時から正午まで「剪定枝回収リサイクル向上実証実験」をJA高岡醍醐地区センターにおいて試行しました。当日は、天候に恵まれ、戸出地区を中心に、軽トラックを主とする車両約200台の搬入がありました。開始当初から渋滞が発生し、周辺地域には迷惑をおかけしましたが、持ち込みいただいた方からは概ね好評をいただきました。今回の実証実験で、持込量などのニーズを確認できたことを踏まえ、次回の実施に向けて、分別や資源化の方法などについて、さらに検討を重ねてまいります。



市環境政策課 課長 室谷智

食改メンバー募集中

食改（食生活改善推進員会）は健康寿命延伸を目標に生活習慣予防・フレイル予防等へ食生活という視点でアプローチし啓蒙・啓発活動を進めているボランティア団体です。今年度は西部金屋両自治会とコラボして高血圧・フレイル予防研修、調理実習を実施しました。北般若文化祭では「朝食を食べよう」をテーマにパネル展示や簡単朝食ミ



ニ井を紹介しました。食事は日々の生活において欠かせない大切な習慣です。家族みんなの健康を考え、食生活の見直し改善を目指し新しい多くの学びを一緒に楽しみましょう！

北般若地区食改 理事 出村美好